

最近の機械貿易動向(9月)～機械輸出は3ヶ月連続の減少と低迷～

日本機械輸出組合 2012.11.5

9月の機械輸出額は、3兆4,968億円、対前年同月比11.2%減と3ヶ月連続で減少した(8月3.0%減)。これは、全地域向けでマイナスとなり、特にEU、中国、その他地域向けで2ケタの大幅減となったこと、機械輸出額の33%を占める自動車の伸びが12%減と大幅な減少に転じたこと、16%の産業機械が9.5%減と大幅な減少が続いていることなどによる。

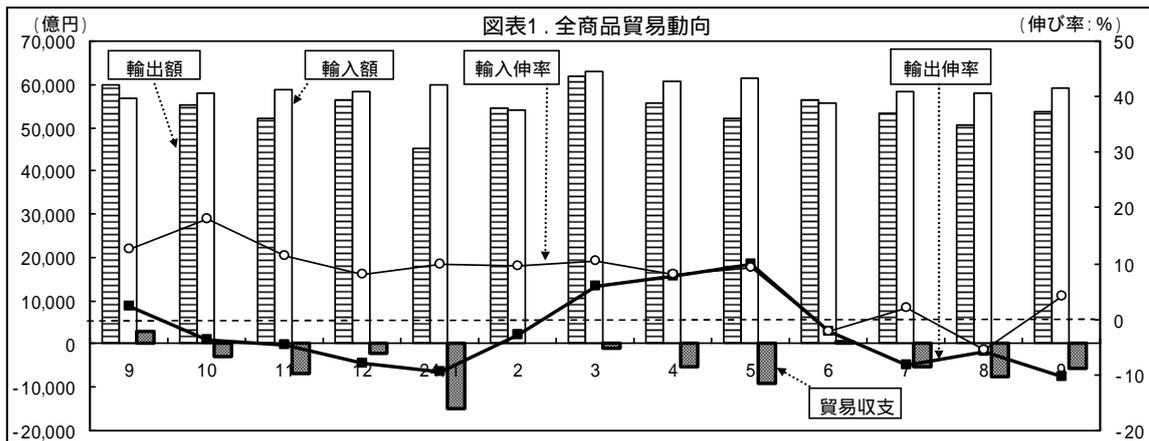
10月是对ドルで円高が更に進んだものの、前年が過去最大の円高であったことから為替は0.8%の増加要因となり、他方、営業日は2日多く、為替・営業日は10.8%の増加要因となる。10月の機械輸出額は、仮に9月の実質的伸び(6.4%減)が続くとすれば、前年比4.4%増となる。しかし、10月上旬の全商品輸出額は4.8%減である。

1. 全商品貿易動向～輸出は4ヶ月連続でマイナス、貿易収支は3ヶ月連続で貿易赤字～

1)平成24年9月の全商品輸出額は5兆3,597億円、前年同月比(以下同じ)10.3%減とマイナス幅を拡大させ4ヶ月連続の減少となった(8月5.8%減)。これは、全輸出額の約23%を占める輸送用機器(16.6%減)、約20%を占める原動機、建機等一般機械(10.5%減)等が大幅に減少したことによる。

2)輸入額は5兆9,183億円、前年同月比4.1%増と2ヶ月ぶりに増加に転じた(8月5.4%減)。これは、全輸入額の36%を占める原粗油等鉱物性燃料(18.2%増)、約12%の通信機等電気機器(10.2%増)、3%の航空機类等輸送用機器(23.8%増)等が大幅に増加したためである。

3)この結果、9月の貿易収支は輸入額が輸出額を上回り、5,585億円と3ヶ月連続の貿易赤字となった。

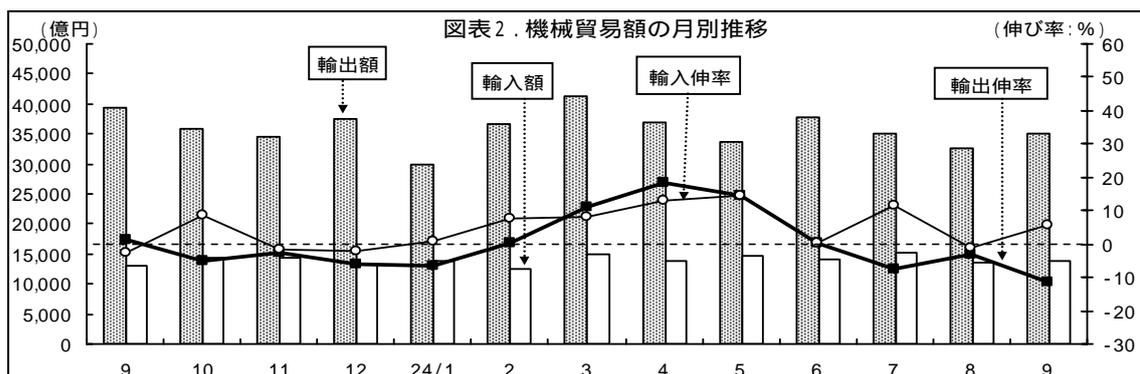


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は3ヶ月連続減少と低迷～

1)全商品輸出額の約65%を占める9月の機械輸出額は3兆4,968億円、11.2%減と3ヶ月連続で減少となり、マイナス幅を拡大した(8月3.0%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年9月)と比べると、70%と前月より2ポイントと後退した(8月72%)。

2)一方、全商品輸入額の約23%を占める機械輸入額は、1兆3,912億円、5.5%増と2ヶ月ぶりに増加へ転じた(8月0.9%減)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の90.3%と前月より約3ポイント上昇した(8月87.1%)。

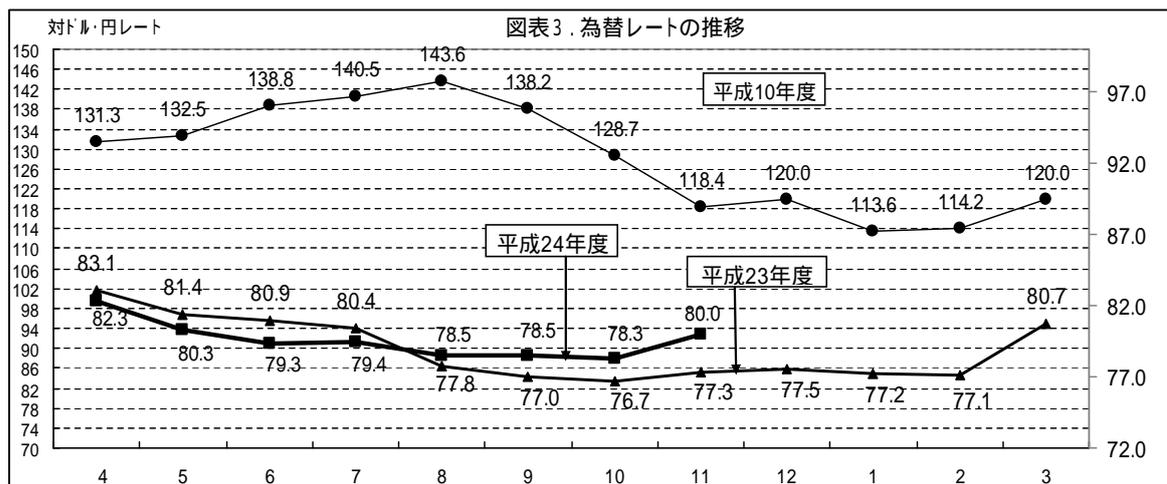


(2) 為替動向・営業日～9月は為替・営業日で4.8%の減少、10月は10.8%の増加要因～

1) 9月は1ドル=78.5円と超円高水準で横這いとなったが、前年の方が円高のため、2%の円安となった。また、対ユーロでは99円と円高がやや是正され、前年に対し8.3%の円高となり、合わせて0.2%の僅かな増加要因となった。営業日は1日少ないので5%減、合計4.8%の減少要因となる。9月の輸出額は11.2%減であったことから、実質的伸び率は6.4%減とマイナス幅が拡大した(8月2.1%減)。

2) 10月は1ドル=78.3円とさらに円高が進んだが、前年が過去最大の円高であったため、2.1%の円安となった。また、対ユーロでは101.6円と円高がやや是正され、前年に対し2.3%の円高となり、合わせて0.8%の為替増加要因となった。営業日は2日多いので10%増、合計10.8%の増加要因となる。

3) 11月は、対ドルが現状の80円とすれば、前年が更に円高であったので3.5%の円安となり、また、対ユーロが103.8円とすれば2.5%の円高となり、合わせると1.5%の為替増加要因となる。営業日は同じなので合計1.5%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～EU、中国、その他地域向けが二桁減、米国向けは1年ぶりにマイナス～

1) 機械輸出が大幅に減少したのは、機械輸出額の11%を占めるEU向けで、域内経済の長びく低迷から、輸出額の28%を占める自動車(32.5%減)、17%を占める産業機械(16.7%減)、電子デバイス(30.7%減)、光学機械(35.7%減)、建設機械(35.6%減)等が減少し、24.5%減と大幅なマイナスとなったこと、約16%を占める中国向けでは、輸出額の15%を占める半導体製造装置等産業機械(31.4%減)、15%を占める自動車(29.3%減)、建設機械(69.6%減)等が大幅に減少し、18.8%減のマイナスとなったこと、また、21%を占めるその他地域向けでは、中近東を除く、ロシア東欧(25.3%減)、中南米(22.3%減)、インド(20.9%減)、アフリカ(15.6%減)、大洋州(12.5%減)が2ケタ減となり、機種では、全体の半分を占める自動車(11.7%減)、16%の船舶(34.2%減)、8%の産業機械(21.2%減)等がマイナスとなり16.7%減の減少となったこと、29%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けが、シンガポールが2ケタの大幅減となり、業種では半導体製造装置、建設機械等がマイナスとなり、2.1%減となったこと、約22%の北米向けでは輸出額の46%を占める自動車(6.2%減)、工作機械(16.6%減)、電子デバイス(17.2%減)等がマイナスとなり、1.5%減となったことによる。これは、2011年10月以来約1年ぶりにマイナスとなった。

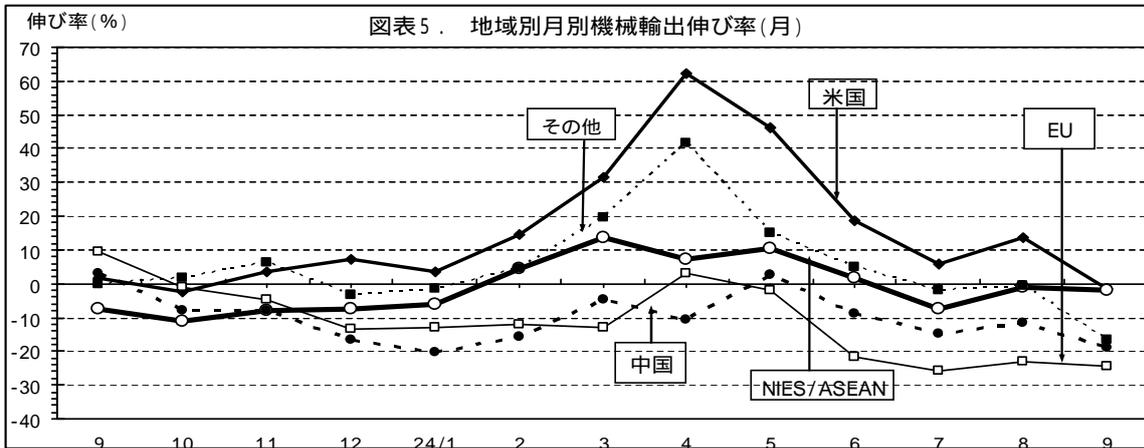
3) また、リーマンショック前の平成19年9月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは皆無で、中国とNIES/ASEANが80%台、北米とその他地域は60%台、EUは依然、40%台と低水準であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/7			2012/8			2012/9			対07年 9月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	35,170	7.5	100	32,680	3.0	100	34,968	11.2	100	0.70
北米	7,977	5.9	22.7	7,477	13.4	22.9	7,838	1.5	22.4	0.67
EU	3,594	25.9	10.2	3,354	22.9	10.3	3,890	24.5	11.1	0.47
NIES/ASEAN	9,919	7.5	28.2	9,468	0.9	29.0	10,272	2.1	29.4	0.81
中国	6,247	14.6	17.8	5,866	11.5	17.9	5,734	18.8	16.4	0.88
その他	7,433	2.1	21.1	6,516	0.4	19.9	7,235	16.7	20.7	0.65

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2012/6		2012/7		2012/8		2012/9	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,577	20.5	1,579	17.5	1,494	19.9	1,634	5.5
台湾	1,688	9.6	1,551	12.4	1,525	1.7	1,603	6.2
香港	1,653	1.4	1,431	13.6	1,450	0.6	1,491	4.8
タイ	2,007	28.7	1,875	12.6	1,786	16.7	2,006	12.8
シンガポール	1,065	3.9	801	34.7	743	27.0	793	26.0
インドネシア	1,021	22.0	861	1.9	816	20.7	927	1.5
マレーシア	793	2.6	714	15.2	699	2.3	767	5.1
フィリピン	557	28.9	564	27.4	498	10.0	556	4.5
ベトナム	359	10.9	456	48.9	354	22.3	371	14.5
その他地域								
中南米	2,956	8.3	2,351	5.8	2,044	1.3	2,188	22.3
中近東	1,478	11.0	1,412	9.3	1,230	4.8	1,443	1.8
大洋州	1,208	7.0	1,087	11.4	1,045	16.7	1,267	12.5
ロシア東欧等	1,237	7.4	1,325	1.3	1,130	2.6	1,086	25.3
アフリカ	952	15.7	723	7.3	531	15.9	729	15.6
インド	402	15.2	452	7.1	419	5.1	411	20.9

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 19業種のうち16業種でマイナス、自動車もマイナスへ ~

1) 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが、前月同様、16業種であった。全体の約33%を占める自動車(12.0%減、8ヶ月ぶりマイナス)、約16%を占める産業機械(9.5%減、15ヶ月連続)、船舶(38.6%減)、建設機械(17.7%減)、電子計算機(15.1%減)、陸用内燃機(26.0%減)、産業車両(10.1%減)等が大幅なマイナスとなった。工作機械は2年8ヶ月ぶりにマイナスとなった。

他方、医療機械(15.5%増)と農業機械(18.1%増)は二桁増となった。

2) この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが医療機械、光学機械、ベアリングの3業種で、他方、電子計算機、通信機械、民生用電子機械は、30~50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2012/7				2012/8				2012/9				対07/9比
機種名	金額	伸び率	Δ17	機種名	金額	伸び率	Δ17	機種名	金額	伸び率	Δ17	
自動車	11,964	2.5	34.0	自動車	10,252	1.6	31.4	自動車	11,423	12.0	32.7	0.67
産業機械	5,790	17.8	16.5	産業機械	5,806	9.3	17.8	産業機械	5,523	9.5	15.8	0.73
電子デバイス	2,734	13.8	7.8	電子デバイス	2,832	3.4	8.7	電子デバイス	3,012	7.7	8.6	0.63
船舶	1,436	15.7	4.1	船舶	1,115	26.4	3.4	船舶	1,516	38.6	4.3	0.86
軽電気機械	1,836	14.5	5.2	軽電気機械	1,802	5.6	5.5	軽電気機械	1,936	10.2	5.5	0.72
民生用電子機械	1,735	13.6	4.9	民生用電子機械	1,740	4.4	5.3	民生用電子機械	1,804	6.1	5.2	0.46
重電気機械	1,781	5.2	5.1	重電気機械	1,688	0.9	5.2	重電気機械	1,777	7.5	5.1	0.83
軽機械	1,355	1.4	3.9	軽機械	1,277	7.9	3.9	軽機械	1,343	5.8	3.8	0.71
光学機械	1,266	12.0	3.6	光学機械	1,311	0.2	4.0	光学機械	1,415	3.3	4.0	1.07
建設機械	1,126	0.7	3.2	建設機械	945	9.7	2.9	建設機械	1,027	17.7	2.9	0.77
工作機械	956	9.7	2.7	工作機械	929	27.6	2.8	工作機械	847	4.4	2.4	0.94
通信機械	389	24.9	1.1	通信機械	365	21.2	1.1	通信機械	439	8.9	1.3	0.40
電子計算機	371	20.9	1.1	電子計算機	362	21.9	1.1	電子計算機	401	15.1	1.1	0.32
ベアリング	366	13.7	1.0	ベアリング	331	7.7	1.0	ベアリング	349	14.0	1.0	1.02
陸用内燃機関	313	27.7	0.9	陸用内燃機関	307	12.8	0.9	陸用内燃機関	326	26.0	0.9	0.85
医療機械	288	10.4	0.8	医療機械	270	4.7	0.8	医療機械	384	15.5	1.1	1.40
繊維機械	145	34.1	0.4	繊維機械	136	21.8	0.4	繊維機械	158	0	0.5	0.67
農業機械	136	15.7	0.4	農業機械	124	11.5	0.4	農業機械	152	18.1	0.4	0.72
産業車両	128	13.0	0.4	産業車両	109	12.1	0.3	産業車両	128	10.1	0.4	0.60
19業種合計	34,115		97.0	19業種合計	31,701		97.0	19業種合計	33,960		97.1	0.69

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカ、TV、部品。電子計算機: ハソコ、HDD、プリンター等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～金属加工機械、農機、医療機械は2ケタ増、録画・再生、電池、船舶は大幅減～
 1) 高い伸び率を示した機種は、ASEAN(75.3%増)、中国(21.7%増)、その他地域向け等金属加工機械(29.8%増)、北米(26.3%増)、ASEAN(46.1%増)、韓国・台湾(29.6%増)等向け農業機械(18.1%増)、北米(20.4%増)、中国(23.3%増)、その他地域(24.3%増)等向け医療機械(15.5%増)、中国(15.7%増)、北米(2.3倍増)、EU(51.4%増)等向け時計(12.5%増)である。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、録画再生機器(55.6%減)、電池(54.6%減)、船舶(38.6%減)、陸用内燃機関(26.0%減)、半導体製造装置(21.0%減)、風水力機械(19.8%減)、建設機械(17.7%減)、乗用車(16.1%減)、磁気カード・ディスク(15.8%減)、電子計算機(15.1%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/7			2012/8			2012/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	169	42.7	電子応用装置	58	58.5	金属加工機械	331	29.8
電子応用装置	54	21.6	工作機械	929	27.6	農業機械	152	18.1
機種合計	223	0.6%	発電機	122	26.1	医療機械	384	15.5
			貨物自動車	677	18.3	時計	112	12.5
			原動力機械	396	17.9	機種合計	867	2.5%
			機種合計	2,182	6.7%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/7			2012/8			2012/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電池	181	54.0	電池	176	50.9	録画・再生機器	8	55.6
録画・再生機器	13	45.9	エアコン	6	47.3	電池	174	54.6
半導体製造装置	911	36.0	録画・再生機器	10	40.1	船舶	1,516	38.6
繊維機械	145	34.1	船舶	1115	26.4	陸用内燃機関	326	26.0
電子デバイス	22	31.6	半導体製造装置	982	25.3	半導体製造装置	806	21.0
陸用内燃機関	313	27.7	産業用ロボット	81	23.5	風水力機械	564	19.8
TV	67	27.3	電子計算機	362	21.9	建設機械	1,027	17.7
通信機器	389	24.9	繊維機械	136	21.8	乗用車	6,122	16.1
原動力機械	372	19.5	通信機器	365	21.2	磁気カード・ディスク	142	15.8
風水力機械	582	17.1	磁気カード・ディスク	137	13.0	電子計算機	401	15.1
機種合計	2,995	8.5%	機種合計	3,233	9.2%	機種合計	11,078	31.7%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、航空機が大幅増、電子計算機、民生用電子部品、乗用車が減少～

1) 9月の機械輸入伸び率は5.5%増と2ヶ月ぶりに増加に転じた。その要因は、スマートフォン新製品の発売に伴う携帯電話(2.9倍増)の大幅増をはじめ、航空機(2.4倍増)、医療機械(10.4%増)、分析・試験・検査機(12.1%増)等の増加が大きく影響したためである。他方、マイナスとなったのは二大輸入機種の子電子計算機(11.5%減)、民生用電子部品(13.1%減)が2桁減となったほか、乗用車(0.8%減)も微減となった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、携帯電話、電子計算機、白物家電、時計、医療機器、TV、エアコン、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、中国(13.5%増)、北米(9.9%増)、ASEAN(5.0%減)、EU(5.4%減)、韓国・台湾(2.1%減)、その他地域(15.4%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2012/7				2012/8				2012/9			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,588	5.3	10.5	電子デバイス	1,481	6.6	11.0	電子デバイス	1,497	0.3	10.8
電子デバイス	1,564	8.7	10.4	電子計算機	1,417	8.6	10.5	電子計算機	1,412	11.5	10.1
自動車部品	872	56.8	5.8	乗用車	869	22.4	6.4	携帯電話	1,276	185.8	9.2
携帯電話	862	31.2	5.7	自動車部品	655	5.6	4.9	乗用車	680	0.8	4.9
乗用車	757	62.8	5.0	携帯電話	634	12.5	4.7	自動車部品	660	0.8	4.7
白物家電	695	2.9	4.6	重電気機械	619	9.1	4.6	重電気機械	624	0.8	4.5
重電気機械	676	5.1	4.5	白物家電	502	10.1	3.7	航空機	570	135.7	4.1
医療機器	512	16.7	3.4	医療機器	487	9.9	3.6	医療機器	459	10.4	3.3
航空機	407	77.7	2.7	航空機	449	78.5	3.3	白物家電	459	0.8	3.3
光学機械	390	22.9	2.6	光学機械	347	3.2	2.6	光学機械	346	2.5	2.5
民生用電子部品	379	28.2	2.5	民生用電子部品	298	8.6	2.2	分析・試験・検査機	280	12.1	2.0
分析・試験・検査機	254	4.3	1.7	分析・試験・検査機	253	1.3	1.9	民生用電子部品	269	13.1	1.9
12機種合計	8,956		59.3	12機種合計	8,011		59.4	12機種合計	8,263		59.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電・民生用電気機械